

LIBRARY News 10月号

東三鷹学園三鷹市立第六中学校
令和8年10月1日 No.13
校長
図書館司書

東三鷹学園 学校図書館連携イベント開催！

「六中生からの挑戦！ 絵本を読んで謎を解け！」

東三鷹学園（一小・北野小・六中）の図書委員会で開催するイベントが27日から北野小で始まります。後期図書委員が知恵を振り絞り、楽しいクイズを作成します。みなさんもクイズに参加してみませんか？

小学校でクイズ正解者がもらえる**特製しおり（5種類）**も 六中生はカウンターでもらえます。たくさんのご参加をお待ちしております。

けやき祭♪
おすすめの本

『くちびるに歌を』

中田永一/著 小学館

物語の舞台は離島の中学校合唱部。対立していた男子と女子が音楽の力でしだいにひとつになっていく、映画化もされた古典的名作。歌うことの素晴らしさを実感できると思います。

『BLUE GIANT』

石塚真一/著 小学館

ジャズに心ひかれた高校生が世界一のジャズプレイヤーを目指す。マンガだよ～。

10月の図書館カレンダー

※急に変更になることがあります

月	火	水	木	金	土
通常開館時間 昼→昼休み 13:00～13:20 放→放課後 放課後～16:30			1 昼○/放○	2 昼○/放○	3 地域開放 9:00～12:00
5 昼○/放○	6 昼○/放○	7 休館（鷹教研）	8 昼○/放○	9 昼○/放○	10 学校公開 9:00～12:20
12 スポーツの日	13 昼○/放○	14 昼○/放× 職員会議	15 昼○/放○	16 けやき祭	17 休館
19 昼○/放× 学年会	20 昼○/放○	21 昼○/放×	22 昼○/放× 各種委員会	23 昼○/放○	24 地域開放 9:00～12:00
26 昼○/放○	27 昼○/放○	28 昼○/放×	29 昼○/放○	30 昼○/放○ 1年校外学習	31 地域開放 9:00～12:00

★土曜日は学校図書館の地域開放を行っています。入口は図書館下の校庭側外階段 1 階。

★10日（土）は学校公開。保護者の皆さまのご来館をお待ちしております。貸出もできます。

★本の返却は、閉館時は入り口前のポストへ。開館時はいつでもカウンターに返却できます。

ウラは新刊！

※新しく入った本を紹介します。★はリクエストされた本です。貸出は明日の昼休みから。

分類	書 名	著者（出版社）	紹 介
120	自分とか、ないから。教養としての東洋哲学	しんめいP/著	いろいろ考えて苦しい人、読んでごらん。まず著者のとんでもない自己否定から始まりますが、東洋哲学の勧誘書ではありません。7人の東洋哲学の哲学者の考え方を紹介する「哲学エッセイ」です。大阪弁のお兄さんがつらい気持ちをラクにしてくれるかも。文章はほぼマンガ状態です。
304	国家の品格	藤原正彦	2005 年に書かれた本で論理が極端だとの批判もありますが、「外国語よりも読書を」には共感。中身の濃い会話をしましょう。
361	この世の中を動かす暗黙のルール 人づきあいが苦手な人のための物語	岡田尊司	自殺を図った若者に老人が伝えたこと、それは8つの“暗黙のルール”。うまく生きるよりも大切なことは、自分にとって本当に大切なものを見つけること。自分が求めているものが何なのか、はっきりさせないと求めているものは手に入らない。
410	ようこそ、数学クラブへ ★	キム・ミニョン	韓国発の数学の魅力を伝える本。暗記もテストもない世界へ。
431	物語をつむぐ 元素の凶鑑	荒船良孝	118 個の元素の話を掲載した手のひらサイズの美しい本。
493	最新脳研究でわかった 子どもの脳を傷つける親がやっていること	友田明美 小児精神科医からの提言	
640	13 歳から考える畜産 小さな畜産からつくるサステナブルな未来	関根佳恵	日本における畜産業の役割や課題、新しい畜産への挑戦など、サステナブル（持続可能）な未来の畜産について考える。
726	数学ゴールデン 1 ★	蔵丸竜彦	数学オリンピック日本代表を目指す高校生が主人公。少年少女たち、数学がすごく楽しそうなんだけど。おばさんも復習したくなったぞ。
913	チャリを盗んで、夜明け	黒川裕子	主人公は中 3 の巧海。事故で働けなくなった父親は心も病み、生活は貧困状態に。そんなある日巧海は「基本余裕の産物 音楽」に出会い、おせっかいな大人と触れ合い閉ざされた心が開かれていく。
913	リクと暮らせば レンタル番犬物語	大崎 梢	高齢者宅の防犯に犬を貸してくれるというサービスがあるという。いわば「レンタル番犬」。強面のシェパードが突然帰宅した長男を不審者と捉え威嚇する場面の、なんと頼もしいこと。うちも欲しくなりました。利用料金を高いと感じるか安いと思うかは人それぞれだろうなあ。連作短編集です。
913	いつか、あの博物館で。アンドロイドと不気味の谷	朝比奈あすか	4 人の男女の中 1～中 3 の 3 年間で 4 人の視点で描いた物語。同年代の揺れ動く感情に共感できる部分も多いのでは？
913	きみはだれかのどうでもいい人	伊藤朱里	県の税金を扱う事務所が舞台。そこに勤める 4 人の女性のひとりひとりの立場で描かれる、人間関係って難しいなって感じの物語。税金滞納者とのバトルがすさまじくてちょいと引いた。
913	旅の短篇集 春夏・秋冬	原田宗典	作品自体は2000年に書かれたものですが、今年度の本屋大賞「発掘部門」を受賞した作品。見開き 1 ページのショートストーリーで、世界各国に空想の旅へと誘います。センス抜群。
E 913	うさぎのしま	近藤えり/たてのひろし	瀬戸内海に浮かぶ小さな島 大久野島では、第二次世界大戦が終わる前年まで毒ガスが製造されていました。その実験に使われていたのがうさぎです。かつて「地図から消された島」だった大久野島を描く絵本は、暗い歴史と共に現在の島のうさぎが引き起こす問題にも言及しています。
914	ものがわかるということ	養老孟子	「わかる」とはどういうことかを述べた本。「すべてが意味に直結する情報化社会」の項で「いまの世の中は意味のあるものしか価値がないと思っている」は、そうだなあと思った。
933	春にして君を離れ	アガサ・クリスティー	外国の物語はあまり読んでももらえないけど、クリスティーをすすめる「おもしろかったー！」となります。さすがです。今年は没後 50 年だそうです。女性の心理を描いた作品で殺人事件は起こりません。
933	息吹 ★	テッド・チャン	K 先生がビブリアバトルで紹介した作品。先生いわく、「最近では世界ナンバーワンの SF 短篇集」。SF の世界に脳がついていかない私は、3 回読んでようやく面白さを理解。読んだら感想を K 先生に伝えてね。